

2024年11月14日

各位

会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
代表者名 代表取締役社長 鳥越 慎二
(コード8769 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 経営管理本部 天田 貴之
ディビジョンマネジャー
(電話番号 03-5794-3800)

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月期中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上の内容

当社はエンゲージメント領域におけるソリューションの強化及びプロダクト開発力の強化を目的に、OKR（Objective & Key Results）という目標管理手法を活用した組織・個人のアラインメント強化ツール『Resily（リシリー）』をクラウドで提供する Resily 株式会社（以下、「Resily」という）の全株式を2023年7月3日付で取得し、連結子会社化いたしました。

子会社化後、役員体制の変更やメンタリティマネジメント事業部門に「Resily 事業本部」を設置するなど、営業・開発・マネジメント等の面で連携を強化し事業成長とグループシナジーを追求してまいりました。また、コストの適正化など収益改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当事業年度においてもマーケティング活動を更に強化するなど新規顧客獲得に向けた活動を積極的に実施してきたものの、新規顧客の獲得が当初の想定通りに進まないことから、事業収益力の改善も限定的となっております。

この結果を踏まえ、取得時に発生したのれん及び Resily が計上する固定資産について、投資額の回収が見込めなくなったことから2025年3月期中間連結会計期間において、234百万円の減損損失を計上いたしました。

また上記に伴い、当社は個別決算において関係会社株式評価損 73百万円を特別損失として計上いたしました。なお、個別決算における関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 業績予想に与える影響

本件につきましては、本日公表の「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上